



メディア・アラート

即座のリリース用

メディア対応窓口：スティーブン・タン、メディア対応担当理事ーアジア地区

stan@support.ucla.edu / モバイル：+65 9755 0460

現地対応窓口：info@uclajapan.gr.jp

ブロック総長、6月16日 UCLA ジャパンセンター開設式典に出席

UCLA グローバル、2016年6月7日——ブロック総長率いる UCLA 代表団（国際研究兼グローバル・エンゲージメント担当シンディ・ファン副総長、テラサキ日本研究センターディレクター阿部仁史教授、および UCLA 財団理事長 [内定] シャーリー・ワン氏を含む）は6月16日、新 UCLA ジャパンセンター開設式典に出席のため東京を訪問する。センターは、UCLA 卒業者、学生、および教職員が、ミーティングとイベントを開くことができるように専門のスペースを提供するために日本の数名の主要な UCLA 卒業者がとった草の根の努力の賜物である。

「UCLA ジャパンセンターの開設は、日本同窓会の歴史ならびに UCLA と日本との協力の歴史の中の大きな一コマである」とブロック総長は述べ、「私達は、センターが卒業生等のインタラクションのための繁栄あるフォーラムになることを楽しみにしている。」と発言した。日本は、世界で最大数の国際的な UCLA 卒業生のホームとなっている。東京滞在中に UCLA 代表団は、また、東京大学柏キャンパス近く、柏の葉キャンパス地区の KOIL（柏の葉オープン・イノベーション・ラボ）でリーダーや研究者と会うことになっている。

東京ミーティングは、ブロック総長がアジアと UCLA のつながりを深くする旅の一部であり、彼と UCLA 代表団は、現行および新しい大学パートナー、政府と財界の指導者、および UCLA 卒業者や友人と会合を持つ。日本に加えて、代表団の今回の旅程には、フィリピン、香港、インドネシア、シンガポール、およびマレーシアが含まれている。

「UCLA は、私達の教職員、学生、および研究のアジェンダに役立てるため、アジアにおいてパートナーシップを構築することが必須であると考えます。主導的でグローバルな大学として UCLA は、世界中の各種機関のパートナー、卒業生、および友人とアイデアを共有し、連携する機会を創造する。フォーマルなまたはインフォーマルなこれらのミーティングは、また、私達の卒業生とパートナーとの緊密な関係を維持すると同時にそのグローバルな存在とブランドを本学が強化することを助けることになるであろう」と、ファン副総長は述べた。

「アカデミシャンとリーダーとのパーソナルな会話とミーティングによって UCLA は最上位層の研究大学としてその巨大な利点を最もよく共有することができる」と、ブロック総長は述べ、さらに「これらのミーティングは、また、私達が他国の研究と政策の優先順位をよりよく理解することを可能にする。アジアは、21世紀のグローバルな経済の支点であり、文化の分野では創造的な力である——UCLA はこの地域における多くのパートナーシップを誇りに思っている。」と述べた。

UCLA Asia Office
15/F New East Ocean Centre
9 Science Museum Road
Tsim Sha Tsui East
Kowloon, Hong Kong

Stephen Tan, Director
stan@support.ucla.edu
Tel: +65 9755 0460